

少子社会の子育て環境づくりへ 施策のネットワーク化を検討

議員 本市では、仕事と育児の両立ができる環境づくりのため、市民相互の育児援助活動を支援するファミリーサポートセンターを整備するとしているが、この事業への取り組み状況を伺いたい。

健康福祉部長 この事業は、新平塚市総合計画改訂基本計画第一次実施計画に位置づけ、子育て支援を地域において会員相互で支える事業であり、明るい地域社会の創造にもつながると考えている。また、県下各市の運営方法等の実施形態も多様化



子育て支援センターのひろば(豊田分庁舎)

してきており、本市にふさわしい運営方法、設置場所、連携の方策など、実施に当たっての検討を進めている。

議員 この事業の今後の実施見通しを聞きたい。

健康福祉部長 平成十五年四月に豊田分庁舎に事務所を開設し、会員の募集、支援会員の研修等、事前準備を行った後、七月から事業を開始する考えで準備を進めている。

議員 子育て交流の場として、すでに取り組んでいる子育て支援センターの利用状況を伺いたい。

健康福祉部長 子育て支援センターは、家庭で子育てをしている保護者が子供と参加しやすい子育てサロンを中心として、相談や情報の提供、子育てサークルの支援などを行っている。この子育てサロンの利用者は、平成十三年で延べ一万人を超えている状況である。

成計画に、子育て支援センターや児童虐待防止対策など具体的施策の中で、ネットワークの整備や推進が検討されている。今後この計画に基づいてネットワークの展開を図り、効果的な子育て支援を推進していく考えである。

議員 児童育成計画の策定が考えを伺いたい。

健康福祉部長 子育て支援は、保育所、各種の相談機関、地域組織や子育てサークルなどとネットワークを図りながら、地域社会全体で支えることが大切であると考えており、現在策定中の児童育成計画に、子育て支援策を盛り込むことについて、関係機関と協議を進めている。

議員 児童育成計画策定に当たっての基本的な考え方を聞きたい。

健康福祉部長 児童育成計画は、子供の自立性や社会性の醸成をはじめ、子育てと社会参加への両立支援、子育ての悩みや不安解消等の課題に適切に対応するため、①子供の最善の利益の確保、②子育て家庭の支援、③地域での子育て支援、④仕事と子育ての両立支援、以上のことを柱に置いて策定作業を行っている。

議員 この計画は、どの程度策定作業が進んでいるのか。

健康福祉部長 平成十三年に基礎資料としてアンケート調査を実施し、その集計・分析を基に、連計画との整合性を図り、素案の作成を行った。現在は、児童育成計画策定委員会に素案を諮り、まとめの段階に入っているところである。

増える出動件数

救急体制の現状聞く

議員 救急車の出動件数は年々増加の傾向にある

消防長 平成六年三月に旭地区人口の増加に伴い、公所内に旭出張所を開設した。その時に、救急隊を一隊増隊し、現在の五隊体制に至っている。

議員 現在の救急隊の人員や救急車両の配置により、救急業務は適正な状況にあるのか。

消防長 救急隊は、一隊三人編成で四五人の隊員で運営されており、その内一人が救急救命士で各救急隊へ配置されている。また、救急車の出動体制については、平成十四年三月から車両動態位置管理装置を導入し、移動中の救急車を含め現場に一番近い車両を把握でき

るようになり、出動要請から六分程度で現場へ駆けつけることができる。この車両動態位置管理装置や救急車と消防車が同時に出動する体制等により、一一九番通報から病院まで、従来約二三分かかっていたものが、現在一五分程度に短縮できており、今後この体制を推進する考えである。

介護予防の推進

高齢者健康維持への取り組みは

議員 介護保険制度の充実を図るとともに、高齢者の健康を維持し、介護予防を推進することも重要な施策であるが、本市ではどのような取り組みを行っているのか。

健康福祉部長 改定平塚市老人保健福祉計画の重点目標の一つに、介護予防の推進を掲げ、各種の施策を推進している。保健面では、元気な高齢者の健康管理や疾病予防のために、基本健康診査、各種がん検診等の健康診査や健康教育、健康相談

者の健康管理や疾病予防の推進を掲げ、各種の施策を推進している。保健面では、元気な高齢者の健康管理や疾病予防のために、基本健康診査、各種がん検診等の健康診査や健康教育、健康相談



福祉まつり(14年11月)

議員 今後、どのような施策を考えているのか。

健康福祉部長 介護予防の重要性から平成十三年に策定した平塚市介護予防行動推進指針に基づき、地域住民関係団体、行政との協働のもと、地域と一体となり、ワークショップ手法で介護予防の推進を図っていく。今年度は富士見地区をワイクシヨップのモデル地区としたが、更に全市域での開催に向け、順次進めていく考えである。

議員 特別養護老人ホームの待機者が約五七〇人という現状から、解消に向けてどのように取り組んでいるのか伺いたい。

健康福祉部長 待機者

入所待機児解消に向け 民間保育所を増設

議員 保育所入所待機児が増加しており、入所を希望している家庭にとっては深刻な問題となっている。市はどのように解消を図る考えでいるのか聞きたい。

健康福祉部長 社会福祉法人の保育所施設の整備などを最優先に推進し、解消を図る考えである。その一つに民間保育所の創設があり、現在、定員九〇人の保育所の整備を進めており、平成十五年四月一日に開設を予定している。更に、定員九〇人の保育所一園の創設について県と協議を進めている。また、既設の民間保育所の活用で、定員二九人の分園を平成十五年四月一日に定員四五人の認可保育所とする考えでいる。今後、一九六人の定員増を図り、待機児ゼロを目指していく。

社法人の保育所施設の整備などを最優先に推進し、解消を図る考えである。その一つに民間保育所の創設があり、現在、定員九〇人の保育所の整備を進めており、平成十五年四月一日に開設を予定している。更に、定員九〇人の保育所一園の創設について県と協議を進めている。また、既設の民間保育所の活用で、定員二九人の分園を平成十五年四月一日に定員四五人の認可保育所とする考えでいる。今後、一九六人の定員増を図り、待機児ゼロを目指していく。

請願・陳情のてびき

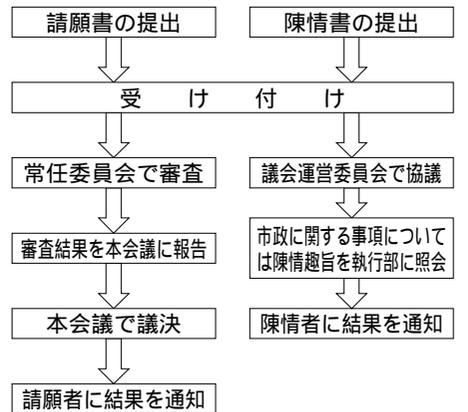
市政について、意見や要望がある時はだれでも議会に請願や陳情を出すことができます。請願には議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

請願・陳情書の提出方法
請願および陳情の提出には、提出日、住所、氏名(団体名・役職名)、押印およびあて先(平塚市議会議長)の記載が必要です。

請願の提出締め切りは、各定例会とも本会議第2日目の午後5時までです。一方、陳情は各定例会ごとにおおむね3回開催される議会運営委員会の2日前(土・日曜日、祝日を除く)までです。

なお、提出された請願・陳情はすべて全議員にその写しを配付しています。

審査の流れ



請願の審査概要

十二月定例会では、四件の審査が行われた。アメリカによるイラクへの先制攻撃反対の意見書についての請願を含む同趣旨の二件の請願、また、中部電力浜岡原子力発電所の休止を求める請願、また、物価スライドの凍結解除による年金の減額をはじめ年金制度の改善に反対し、最低保障年金制度の創設を求める請願は、いずれも継続審査と決定した。

解消に向けては、①国が示した参酌標準を基本に、本市の地域特性を反映させた特別養護老人ホームの施設整備の検討を現在進めている。②県では今年度、特別養護老人ホームの入退所指針を作成し、今までの申し込み順の取り扱いから、要介護度や家族の状況など、在宅での生活を継続することが困難な方が優先的に入所できるように見直しを行った。③多様な受け皿としてグループホーム、ケアハウスなどの充実を図る。以上のことを総合的に進めることで、待機者の解消を図っていく。